第三十七号（令和八年十一月）

伊藤ひろし県議会報告

学校火災の消火・避難体制の強化を

～子どもたちの命を守る学校づくりへ～

今年６月、東京都北区の小学校の４階で出火し、児童約３３０人が避難しました。

校舎内には煙が充満し、複数の児童が取り残され、校舎ひさし部分などに避難するという危険な状況に陥り、衝撃的な事案でありました。

私は、この事案を教訓に、県立学校の防災・火災避難を強化すべきと考えます。





通常の民間業者による消火設備・避難器具の点検だけでなく、教職員の防災器具の操作習熟度を上げる実践訓練も定期的に取り入れるべき考えます。



また、学校敷地には、市町村消防と連携して、はしご車の「進入スペース」「活動空地」を確保し、救助・消火活動の円滑な体制を整えておくことも重要と考えます。



【お伝えしたいこと】

学校火災から、子どもたちの命を守ります